

令和元年度 電磁波・誘導加熱技術部会 技術交流・見学会 マイクロ波化学株式会社 大阪事業所 見学記

1.日 時：令和元年10月9日（金） 10時～11時45分

2.見学場所：マイクロ波化学株式会社 大阪事業所

3.説明者：大阪事業所長 石塚章斤 様

技術開発部門 菅野雅皓 様、管理部 鎌田夢子 様

4.出席者：22名（事務局含む）

5.概要

前日午後に関西電力ソリューションセンターSo-No-Teの会議室をお借りして電磁波加熱技術部会と誘導加熱技術部会との合同技術部会を実施し、翌9日の午前中にマイクロ波化学株式会社 大阪事業所を訪問した。

マイクロ波化学株式会社 大阪事業所は、大阪駅から約13km南にあり、ニュートラム「南港口駅」近くにある。マイクロ波化学株式会社殿は、一昨年の第12回エレクトロヒートシンポジウムの技術発表で塚原CSOにご講演をいただいたご縁もあるとともに、「100年以上も変わることがなかった化学産業にイノベーションを起こし、省エネルギー・高効率・コンパクトなマイクロ波化学プロセスをグローバルスタンダード化する」という理念の下、革新的な事業活動を展開されており、是非現場を訪れたいとの会員からの要望も多く、今回、2014年に世界初の大規模マイクロ波化学工場として立ち上げられた大阪事業所を見学させていただいた。

大阪事業所は、化学業界の「前例がないものは採用できない」とのイノベーションに対する強固な障壁を打ち破るべく、「マイクロ波化学」が実用化できる技術であることを自ら示した工場プラントである。以降、この実証化を受け、業界での事業化が進んだエポックとなった設備でもある。当日の見学では、「世界初」を目指した雰囲気を感じ取れるプラントであった。現在、大阪事業所は、実証棟設備として新棟も含め、基礎研究した技術をスケールアップしての実証をする役割を担っており、実際にいくつもの新技術の実証を進められていて、紙面には記載しませんが いくつかご紹介をしていただきました。

最初の事業紹介の時間では、菅野様、石塚所長より、世界に挑戦しているマイクロ波の化学応用を進められた経緯と会社のビジネスモデルなど詳しく説明をしていただいた。

その後、2班に分かれ設備見学を実施した。見学では、冒頭に記載した最初の実証プラントの確認、自社及び他事業者との共同開発中の新技術の様子をいくつか紹介していただいた。現在取り組まれているものも、新しいアイデアの下、従来できなかった品質、生産性などイノベーションを実現化することにマイクロ波が使われていることが伺い知れた。

大阪事業所のプラント自体も 2014 年の稼働とまだまだ新しい事業であるが、「Make Wave, Make World 世界が知らない世界をつくれ」のメッセージの下で世界にチャレンジし、イノベーションを起こしながらトップランナーで走り続けるマイクロ波化学株式会社殿の現在を感じることができた貴重な技術交流・見学会となった。



写真1 事業所内 説明風景



写真2 説明風景



写真3 「Innovation」を背景に集合写真